

新任の先生が 紹介する好きな本 ・おすすめの本 No.2

(未所蔵の資料もありますが、所蔵・収集予定です。)

杉本憲子教頭先生(英語)

「100万分の1回のねこ」 江國香織ほか12名著

佐野洋子さんの「100万回生きたねこ」への、13人の作家によるトリビュート短編集です。どの作品も心に残りますが、中でも角田光代さんの「おかあさんのところにやってきた猫」という短編が一番心にしました。角田さんと言えば、「八日目の蟬」で有名ですね。

この作品は母と娘のすれ違う愛情をとともうまく描いています。最後のシーンは泣けます。

短編集なので、さっと読めます。

ぜひ、ご一読あれ！

杉本祐史先生(情報)

「プログラムはなぜ動くのか」 矢沢久雄著

この本では、題名の通りコンピュータがプログラムを実行する際に、内部で何が起きているかが解説されています。

といっても、コンピュータは基本的にプログラムを実行して動くものなので、話はコンピュータの全般的な仕組みに及びます。そのため、普段コンピュータやスマートフォンを使う人なら興味をひかれる内容になっています。内容は詳細ですが、説明が丁寧なので、初心者にもわかりやすいと思います。

以下の疑問が気になる人は是非読んでみて下さい。

- ・ファイルのサイズとディスク上のサイズはなぜ違うのか。
- ・なぜわざわざデータをメモリに移してから処理をするのか。
- ・コンピュータはどんな計算を間違えるか。
- ・相手の出し方を学習して、じゃんけんが強いプログラムの

石田吾希子先生(保健体育)

「また、同じ夢を見ていた」 住野よる著

成長していくたびに、いろんな出会いや別れがあるという事かなと思っていたら、出会った人々は自分の選ばなかったもう一人の自分であるという事でした。

もしも 素直になれなかったら、もしもあの時…。

若いみなさん、是非とも読んで、後悔せず精一杯生きて下さい。

徳本龍司先生(理科)

「零式戦闘機」吉村昭著

吉村さんはこの本を書くために、設計主務者への取材を何度も行う等、事実こだわって書かれています。

日本人の技術に対するこだわりの強さを感じることができる作品です。

四藤卓郎先生(英語)

「神のロジック 人間のマジック」 西澤保彦著

世界中から謎の施設に集められた6人の生徒たち。

何の目的で集められたのか？

怪しげな教師たちの正体は？

犯人当て推理ゲームの真相とは？

とにかく謎が謎を呼ぶ展開！

ぜひ読んでみてください！